

「消費者フェスタ in 奈良」資料（R7年度第2回消費者教育推進委員会）

20251016 奈良女子大学 大塚

「消費者教育フェスタ in 奈良」開催概要

「若者が起点となりすべての世代をつなぐインクルーシブな消費者教育の豊かなつながりを求めて―大学生による『共に学ぶ』消費者教育プロジェクトを全国へ―」

1. 基本情報

- 開催日時: 12月6日（土）13:00～16:45
- 開催場所: 春日野国際フォーラム 葎（奈良公園内）
- 主催: 文部科学省・奈良国立大学機構奈良女子大学
- 共催: 奈良県、後援: 消費者庁、後援（手続中: 奈良市、生駒市、県教委、消費者教育学会）
- 想定来場者: 学生・生徒、大学関係者、自治体関係者、消費者団体、各種団体、教育関係者など100名
- オンライン200名
- 総合司会: 奈良女子大学放送局学生

2. タイムライン・担当者・準備物

時間	内容	担当者	形式・詳細	準備物
13:00-	挨拶 4	奈良国立大学	開催地挨拶 5分	挨拶原稿、配
	5分×3	機構理事長	行政説明 5分×2	布資料（プロ
	10分×1	文科省	開催趣旨説明 10分	グラム・案内）
		消費者庁		

時間	内容	担当者	形式・詳細	準備物
13:25		上村名誉教授		
13:25-13:55	基調講演 「ウェルビーイングの視点から考える消費者市民教育」 30 分	大本久美子教授 (30 分)	奈良・関西の消費者教育事例紹介、教育学の見地から次世代の担い手育成について	講演スライド、配布資料、音響・映像機器
13:55-14:55	パネルディスカッション 60 分	大塚 (コーディネーター兼司会)	報告 7 分×6 名、ディスカッション 18 分 テーマ: 「若者が繋げる地域連携とインクルーシブな多世代型消費者教育モデルの構築へ向けて」	発表資料、質問案、音響・映像機器
14:55= 15:00	休憩	会場係	自由休憩	自販機等案内
14:55-15:25	ポスターセッション・交流タイム	各団体・大学関係者	ポスター展示+自由質疑 交流を重視することとし、同時配信はしない。	ポスター掲示板、資料印刷、筆記用具、名札
15:25-16:35	ワークショップ	BEACS 学生	グループ作業 (5~6 人/班) 内容例: すごろくなどの半完成ゲームをグループで完成	紙、筆記具、道具類、タイムキーパー、説明資料

時間	内容	担当者	形式・詳細	準備物
16:35- 16:45	総評	上村名誉教授	当日の総括、今後の展望	－
16:45	閉会挨拶	大塚	－	－

3. パネルディスカッションパネリスト（案）

立場	氏名（案）
なら消費者ねっと	北條正崇（奈良弁護士会）
奈良県消費生活センター	神澤佳子（消費生活相談員）
生駒市消費生活センター	福山智之（主幹・係長）
奈良教育大学	村上睦美准教授
奈良県教育委員会	松浦昭代（奈良商工高校教諭）
奈良女子大学 BEACS	学生 2～3 名

4. ワークショップ内容例

「エデュテインメント消費者教育に挑戦してみよう！」というコンセプトで下記のような案。

ワークショップ	内容例・目的	班構成例
すごろく作成	消費者教育の学習をゲーム化、世代間学習の促進	5～6 人/班、学生＋来場者
カードゲーム作成	消費者の権利や生活知識を楽しく学ぶ	5～6 人/班、学生・来場者
四コマ漫画作成	吹き出しにセリフを入れて生活課題を表現、創造的学習	5 人/班、学生・専門職・市民混合

ワークショップ	内容例・目的	班構成例
防災ゲーム作成	防災知識と消費者教育を 統合した体験型学習	6人/班、自治体職員 ＋学生混合

会場図・座席配置（例）

- 講演・パネルディスカッション用: シアター形式（前方にスクリーン、中央通路）
 - ポスターセッション: 会場周囲に掲示板設置、自由見学動線確保
 - ワークショップ用: 6～7 名×15 テーブル、各班ごとに机・椅子配置、備品は班ごとに準備
-

6. 運営上の補足事項

7. 会場設営:

- 座席配置（講演・ディスカッション用、ワークショップ用）
- スクリーン、プロジェクター、ポスター掲示板

8. 受付・案内:

- 来場者名簿、資料配布、名札（来場者は無し、登壇者のみ）

9. 広報:

- 学内・自治体・団体への事前告知、SNS 活用

10. 当日運営:

- タイムキーパー、司会、写真・記録係

以上

消費者教育 フェスタ in 奈良

若者が起点となりすべての世代をつなぐ
インクルーシブな消費者教育の豊かなつながりを求めて
— 大学生による『共に学ぶ』消費者教育プロジェクトを全国へ —

令和7年 12月6日(土) 13:00～16:45
(2025) (開場12:00～)

会場 奈良春日野国際フォーラム 薨～I・RA・KA～
(奈良公園内)

対象

大学・教育関係者、NPO等各種団体、行政職員、
学生・生徒、市民等関心のあるすべての方

定員

会場参加(先着順)

100名

オンライン開催参加

200名

(基調講演&パネルディスカッション)

申込
方法

WEB申込

申込フォームにてお申し込みください。

令和7年度 消費者教育フェスタ

検索



【参加申込みに関してのお問い合わせ先】

なら消費者ねっと事務局 TEL:0742-93-7741(平日10:30-15:30)

締切

会場・オンライン:11月28日(金)

基調講演



大阪教育大学 健康安全教育系 教授

大本 久美子

パネル
ディスカッション

ワークショップ

ポスター
セッション

プログラム

総合司会 奈良女子大学放送局 学生

13:00 主催者挨拶

榊 裕之 (奈良国立大学機構理事長)

文部科学省・消費者庁(行政説明)

上村 協子 (文部科学省消費者教育推進委員会委員長・東京農工大学監事)

13:25 基調講演

「ウェルビーイングの視点から考える消費者市民教育」

大本 久美子 (大阪教育大学 健康安全教育系 教授)

13:55

パネル ディスカッション

「若者が繋げる地域連携とインクルーシブな
多世代型消費者教育モデルの構築へ向けて」

(パネリスト) 北條 正崇 (なら消費者ねっと 理事長・弁護士)

神澤 佳子 (奈良県消費生活センター 消費者教育コーディネーター)

福山 智之 (生駒市消費生活センター 主幹・係長)

村上 睦美 (奈良教育大学 家庭科教育講座 准教授)

松浦 昭代 (奈良県立奈良商工高等学校 教諭)

奈良女子大学 BEACS 学生

コーディネーター 大塚 浩 (奈良女子大学 教授)

14:55 ポスターセッション・交流タイム

15:25 ワークショップ

エデュテイメント消費者教育に挑戦!

ゲームを作ってみよう

BEACS (奈良女子大学消費者問題研究会) 学生

16:35 総評

上村 協子

16:45 閉会

会場アクセス

奈良春日野国際フォーラム 麓〜I・RA・KA〜
(奈良公園内)

〒630-8212 奈良市春日野町101

[徒歩]

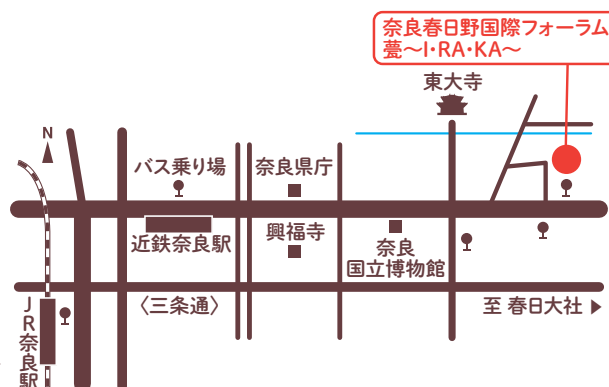
近鉄奈良駅2番出口より徒歩20分

[バス]

(1)近鉄奈良駅5番出口より奈良交通バス1番のりば

(2)JR奈良駅より奈良交通バス東口2番のりば

(1)、(2)とも「春日大社本殿」行き「奈良春日野国際フォーラム麓前」下車すぐ又は、
「市内循環(外回り)」バス「東大寺大仏殿・春日大社前」下車、大仏殿交差点東へ徒歩3分



問い合わせ先

文部科学省 総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
消費者教育推進係 TEL. 03-5253-4111 [内線2260]

奈良国立大学機構 奈良女子大学
E-mail otsuka@cc.nara-wu.ac.jp

【参加申込みに関してのお問い合わせ先】
なら消費者ねっと事務局
TEL: 0742-93-7741
(平日10:30-15:30)

パネルディスカッション「若者が繋げる地域連携とインクルーシブな 多世代型消費者教育モデルの構築へ向けて」企画趣旨と各パネリストへのお願い

2025/10/20 大塚

パネルディスカッション打ち合わせ

ハイブリッドで10月27日(月)16時00分から小一時間 参加が叶わない方は後日協議内容を大塚からお知らせする。

対面会場 奈良女子大 E321 室

＊構成(パネリストはパワポ作成)

企画趣旨説明 コーディネーター 大塚 5分

Part1. 地域連携と若者の力によるインクルーシブな消費者教育

北條 5分

神澤 5分

福山 5分

BEACS 5分

Part2. 消費者市民育成の処方箋を描く

村上 5分

松浦 5分

ディスカッション 20分 (パネリスト間のディスカッションとするが、基調講演と併せて参加者が意見・コメントをよせられるような仕組み必要?)

総括 5分 (流れにより2-3分程度でもよい)

＊計画書中のパネルディスカッションの表記

「パネルディスカッションでは、奈良県ないし全国の行政・NPO・専門職団体・大学(学生)における取り組みをパネリストが紹介し、ディスカッサントとして基調講演スピーカーのほか、消費者教育の歴史的展開および現状について専門的知見を有する者を配する。」

⇒総括は大塚でよい?

＊企画趣旨説明 大塚

ウェルビーイングを到達点とする消費者市民社会の実現のため、これからの新しい消費者教育はどうあるべきか、「共に学ぶ」消費者教育への意識的な転換によって、奈良における私たちの活動をインクルーシブな社会を構築する担い手としての消費者市民の育成という大きな目標へと結節させる方法を模索するためのパネルディスカッションとしたい。奈良

では、行政・NPO・専門職団体・大学等教育関係者・学生による活動が、その前提的要素としての多機関多職種連携の上にたって活発に展開されつつあり、ある程度成果を上げていると思われる。その特徴として各団体による連携を通して一方向的・垂直的な学びの提供ではなく、関係諸主体が「共に学ぶ」水平的関係の構築があげられるように思われる。消費者教育の担い手自体が多世代の連携で構成され、共に活動しながら担い手同士、また講座等の参加者と共に学び合うインクルーシブなコミュニティが形成されつつあるということである。

この「奈良モデル」の特徴を維持発展させ、タイトルのように若者から高齢者まで多世代を包摂するとともに、地域・障害・エスニシティなどの相違・格差を超えてインクルーシブな市民社会の構築を促進するような新しい消費者市民教育のモデル構築の試みが有望であろうことを示す。そのためにどのような処方箋が描けるのか、主体的に自ら学ぶインセンティブを市民に与えられるような地域における消費者教育はどのようなものか、議論したい。なお、BEACS 学生は、連携の触媒・消費者教育の担い手・教育の対象、の三つの役割を行き来しながら地域の消費者教育を活性化させうるキーとなる存在で「消費者市民」リーダーの母体となりうる可能性があり、他地域に同様の活動の輪を広げる条件についても考えたい。Part1 および 2 の順序や構成は変更する可能性があるが、一応、連携による消費者教育の実践の報告から、その担い手たる消費者市民育成の具体的方法へと議論を展開させるという流れである。

***パネリストへのお願い**

[全般的お願い]

- ・(全員) 各団体等の活動実績のうち、特に顕著ないし特徴的な部分について確認、コメントすること。
- ・(北條、神澤、福山、BEACS) 各団体等の他機関・多職種連携の実績について確認、コメントすること。また、地域の連携の触媒の役割を果たすようになった大学生の役割について各自の視点からコメントをいただきたい。
- ・(村上、松浦) 消費者市民教育及びその担い手への教育実践例の紹介、家庭科教育における消費者教育の現状と課題。大学生や高校生などにこの分野の重要性をどう意識づけることができるかについて、また、学校の枠を超えた連携実績などについてコメントをいただきたい。

[パネリストへの個別のお願い]

北條先生

なら消費者ねつとのこれまでの活動を多職種・多機関連携の視点から整理していただく（BEACSとの連携がねつとの活動に与えている影響などについても）。加えて、同様に連携実績に留意しながら弁護士会（消費者保護委員会）の活動実績についてもご報告をいただく。ねつと、弁護士会とも他都府県との相違についてもコメントいただ

ればありがたい。

神澤様

奈良県消費生活センターの活動を地域社会や専門職団体との連携による活動にとくに留意してご報告いただく。他都府県との特徴の相異など。また、BEACS は神澤さんの示唆によって発足したので、どのような意図や期待があり、現状の評価や課題をどう考えているか。また、奈良県の取り組みや連携についても併せて紹介。

村上先生

奈良教育大学における家庭科教育の枠組みの中で、消費者教育ないし消費者市民教育の担い手としての家庭科教員養成という視点での成果、実績と課題についてご報告いただく。家庭科教員が消費者教育分野の専門家として地域の消費者教育・啓発ネットワークにもっと関与できるようになる条件は何か、教員養成系大学の立場からコメントいただきたい。

松浦先生

ウェルビーイングにつながる家庭科教育の実践例の報告をしていただく。インプリケーションとして、ワークを通してエシカル消費とは何かそのものを探求させることができているか。また、同世代間での学びの継承につながるワークが工夫されているが、これを学校内での学年間での学びの伝達に実際につなげることなどは可能なのかを検討していただきたい。

生駒市消費生活センター 福山様

生駒市の活動実績について、重視されているものを紹介。消費生活審議会学生委員は学生にとって得難い機会となっているが、なぜ必要と考えたか、また、どのような効果がある（見込まれる）と考えているか。他市町村と比べても活発な活動を展開されているが、効果と課題は何か。県やNPO、教育機関、各種団体等との連携はどうか。市町村は人的リソースの制約からくる課題が大きいのではないか。また行政特有の問題として、属人的要素に依存する面が大きくなる（異動による活動の継続性の問題）。どのように克服されているか。

BEACS 学生 2 年次 1 名、3 年次 1 名

BEACS の活動紹介（2023～の文科省モデル構築事業の内容と成果）。なぜこの活動に関心を持ったか、NPO や行政と連携して行う社会貢献的公益活動を通しての学びや気づきはなにか。学生にとってのこの活動の意義と、地域における消費者教育活動をどう評価でき、また課題をどうとらえているか。卒業後、この活動の経験をどう生かしていきたいか。

＊補足 企画趣旨アイデアメモ（当日どう話すかは今後検討）

論点・視点

・消費者の自立と脆弱な消費者との関係

：自立のみを強調するのではなく高齢者・障害者・子どもへの教育・啓発はどうあるべきか、という問題への視点。消費者の自立支援に加えて脆弱な消費者への支援

・社会的排除と包摂

：消費者市民育成が自立した消費者概念との結びつきのみを強調するのではなく、包摂の担い手としての消費者市民像としてとらえなおすべきとの視点

・多次元的に現出する社会・経済格差の是正

：世代・地域・障害×IT・社会経済的地位⇒「消費者市民的」消費者と脆弱な消費者の格差の飛躍的拡大のリスク

・インクルージョンのためのエシックスをどうとらえるか。エシカル消費の「エシカル」とは何か。

⇒正義の倫理と対置されるケアの倫理「相互に依存しあう個人の《関係性》という視点から、当事者の各々を気遣いつつ、一人ひとりにとってもっとも望ましい解決を模索」（例えば今年の京都賞受賞者のギリガン）。倫理的な消費の包括的目標として、世代だけでなくジェンダー・エスニシティ・障害などを包摂したインクルーシブな消費者市民社会→信頼を基盤とするソーシャルキャピタル醸成が重要。行政等公的セクター、NPO など市民セクター、大学・中高など教育セクターが有機的に連携し、多職種・多機関による消費者教育を推進し、市民とのラポールを形成 この積み重ねによるソーシャルキャピタルの醸成がウェルビーイングの必要条件。

Cf. 自立した個人を社会の基礎とする自由主義の正義論に対してコミュニティを重視するサンデルの共同体的正義論や” Rights Talk” による社会的結合の弱体化を指摘し、権利の主張のみでなく人々の互助的關係を重視するポストモダン法学の発想も同一の地平にあるか。

以上

2025 年 10 月 20 日

ポスター展示について

令和 7 年度 消費者教育フェスタ in 奈良（2025 年 12 月 6 日（土）13 時～）

奈良県消費生活センター 神澤

- 表記イベントで、奈良県内及び全国で消費者教育等に取り組む教育機関・団体等の活動内容をポスターで紹介し、参加者と交流・意見交換の場を設ける。

□ 参加団体（候補）18 団体程度を予定（11 月初旬に確定）

①奈良県内の団体：10 団体程度を予定→奈良県実行委員会からの連絡で決定

②全国的に活動する団体：5～8 団体程度を予定→文部科学省からの連絡で決定

全国については、これまでの出展状況で想定。

	奈良県内及び関西圏（奈良担当）	全国（文科省担当）
1	奈良教育大	文科省
2	奈良女子大 BEACS	消費者庁
3	奈良県消費生活センター	文科省助成団体 1
4	奈良県教育委員会・中・高等学校	文科省助成団体 2
5	くらしの安全安心サポーター	J-flec？
6	なら消費者ネット	日本消費者教育学会？
7	奈良弁護士会	全国消費生活相談員協会？
8	奈良司法書士会	日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会？
9	生駒市	その他、損保や生保協会等？
10	奈良県金融広報委員会	
	2025 年 10 月 19 日時点の候補 奈良県の私学及び関西圏の消費者教育に 取り組む団体に連絡予定	

□ 展示方法（以下の条件をお知らせのうえ、募集をお願いします。）締切：11 月 5 日（火）

- ・ パネルの掲示面は、縦 110 cm×横 120 cm。2 台まで使用可能ですので、希望数をお申込みください。パネルの前にテーブルがあり資料を置くことができます。
- ・ 展示は当日持込です。10 時 30 分～12 時迄に、会場にお越しいただき団体が自ら行ってください。押しピンをご用意ください。
- ・ ポスターセッションの時間帯（15 時～15 時 30 分頃）に、1 名以上の方がポスター前で待機し参加者との交流・説明等を行ってください。オンライン配信はなく対面の交流のみとなります。
- ・ その後に実施されるワークショップに、1 人以上の参加をお願いします。
- ・ フェスタ終了後（16 時 45 分）に、掲示物の撤去をお願いします。
- ・ フェスタ開催場所：奈良春日野国際フォーラム 薔（奈良市春日野町 101）

2025 年 10 月 20 日

消費者教育等活動団体の皆様

令和 7 年度「消費者教育フェスタ in 奈良」ポスター展示募集について
(2025 年 12 月 6 日 (土) 開催)

日頃は、消費者教育にご尽力いただき誠にありがとうございます。

この度、文部科学省・奈良国立大学機構奈良女子大学主催により、令和 7 年度「消費者教育フェスタ in 奈良」を開催することとなりました。

「若者が起点となりすべての世代をつなぐインクルーシブな消費者教育の豊かなつながりを求めて」をテーマに、地域での消費者教育の広がりやをさらにすすめることを目的としています。

つきましては、貴団体の消費者教育等の取り組みを会場にてご紹介いただきたく、ポスター展示への参加についてご案内申し上げた次第です。

日頃の取り組みについてポスターや資料等を掲示していただき、参加者及び団体同士の交流・意見交換の場としたいと考えております。

開催概要と展示要領は次の通りです。

ご多用の折とは存じますが、ぜひご参加賜りますようお願い申し上げます。

記

【開催概要】(別紙 案内チラシご参照ください)

名称：令和 7 年度消費者教育フェスタ in 奈良

日時：令和 7 年 12 月 6 日 (土曜日) 13 時～16 時 45 分 (予定)

会場：奈良春日野国際フォーラム 麓～I・RA・KA～ (奈良県奈良市春日野町 101)

対象：教員、教育委員会、消費者行政部局、大学関係者、学生、事業者、団体等

参加費：無料

共催：奈良県 後援：消費者庁、日本消費者教育学会、奈良県教育委員会、奈良市、生駒市

【ポスター展示】(別紙申込書を参照ください。申し込み後に詳細をお知らせします。)

1. 会場にて消費者教育等に関する取組内容の紹介
2. フェスタ当日の午前中に、展示物や資料を会場まで持ち込み、展示をお願いします。
3. ポスターセッション (15 時～15 時 30 分頃) に、参加者と自由に意見交換等を行ってください。

詳細は別紙申込書をご参照ください。

申し込み方法：別紙申込書にご記入の上、下記までお送りください。

締め切り：11 月 5 日 (水)

以 上

「消費者教育フェスタ in 奈良」実行委員会
＜ポスター展示 問い合わせ先＞

奈良県消費生活センター 担当：神澤、三輪

TEL：0 7 4 2－3 2－0 6 2 1

Email：syouhi-lc@office.pref.nara.lg.jp